

専徳寺報

第416号

平成27年2月27日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

寺報は家族みんなで読みましょう。

ついたち礼拝―毎月一日・午前9時より45分間―「正信偈和讃・法話」

春季讃仏会法要

御案内

温かい季節となりました。春のご法座、どうぞお参りください。

日時

3月13日(金)

昼 1時30分～3時30分

夜 7時30分～9時

14日(土)

昼 1時30分～3時30分

講師

本願寺布教使

和田 俊昭 師 (玖珂)

●参拝セット(念珠・聖典・式章・聴聞カード)を用意ください。

お知らせ 合同初参式

【日時】5月16日(土) 午前10時

お子様、お孫様とどうぞお参りください。
詳細は次回の寺報でお知らせします。

法要余香 (報恩講法要 1月22～24日)

お世話人の皆様、一年間有難うございました。総代様、法要総代様、仏婦理事様、若婦様、おみがき衆様、お餅つき衆様、おかざり衆様、お花立て衆様、ありがとうございました。

【講師】安方哲爾師、

【参詣者】22日：106名、23日：(昼座) 121名、(夜座) 43名、24日：95名。

【お供え】

藤木増男様、河村アサ子様、白田憲光様、多山博通様、野原千鶴子様、多山義人様

なお夜座に、初めて新発意が『御伝鈔』(下巻第一段)を拝読しました。



親子で学ぶクイズ浄土真宗 ①

問題 葬儀や法事で焼香する意味は？

- イ. お香は死者の食べ物であり、それを亡き人に捧げるため
- ロ. 仏さまの救いのはたらきを、香りを通して味わうため
- ハ. 死者の穢れを除き、同時に自らの汚れも取り除くため

(答えは裏頁に)



(イ)の「お香が死者の食べ物である」という見方は、確かに習俗としてあって、餓鬼の一種の食香という「供物の香だけしか食べられない」餓鬼から来ているのでしよう。それを冥土(暗闇の世界)に赴いた死者全体にも当てはめ、お香がその方たちの食べ物となったと言えましよう。

しかし、仏教の正論から言えば、お香は仏法僧の三宝を心から敬い供養する大切な品の一つと見るべきでしょう。特に、浄土真宗では阿弥陀仏の大悲のはたらきを香の薫りで味わいます。すなわち『仏説無量寿経』に、阿弥陀仏の毛穴から梅檀香という芳しい薫りがただよい出て、全世界に行きわたる、と説かれています。それはそのまま、仏さまの私を救うはたらきが香となって届いているということでしょう。それをお焼香で味わうのです。したがって(ロ)が正解です。

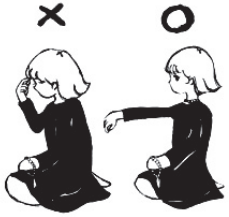
因みに(ハ)は、お香を穢れや不浄なものを除く手段としていますが、仏教では、死を穢れとは見ませんし、唯一、穢れと見なす煩惱も、お香をくべたぐらいでは取り除けません。ただ、尊い仏さまに会うときの身だしなみとは言えましよう。

答え 口

(末本弘然『クイズ浄土真宗 ―親鸞聖人750回大遠忌法要記念出版―』86頁より)



※なお浄土真宗本願寺派では、お香はおしいただかず、回数 は1回です。



専徳寺納骨堂受付中

寺内だより

み仏にいだかれて [葬儀勤修]

1月12日御往生 通津 峯重 寛様(81) 喪主 峯重アキコ様

1月26日御往生 黒磯 金子 誠士様(94) 喪主 金子 優治様

2月14日御往生 本呂尾 富井 保様(83) 喪主 富井 初枝様

ご恩を偲びました

【法事勤修】(1月1日〜2月20日)

- 【通津】 神田信子7、宮本節子50、竹田幸司7、17、里原吉法7、増田秀次33、廣本茂13、呉田勝彦7、中本千代子1、市岡正己1、橋口敏江17、田中フミ子25、北本征夫13、故松村寿昭1、廣本サト子50、今本満7、藤重文雄50、白井清澄50、藤川典雅1、【保津】 穴水純雄25・25、赤崎しおり1、岡部美代子33、賀屋広志33、伊藤暢50、穴水忠生50、赤崎八重子3、【青木】 廣重八重子13、野原千鶴子100、森上芳江3、【黒磯】 白木研二33、弘中勝行50、森重好子7・100、尾下忠道13、片岡良太3・3、藤木正男100、【藤生】 藤中輝夫25、野原靖史3・100、藤木忠雄25、【由宇】 河本幸子13、古崎進一100、【大藤】 村岡久男1、池田貞夫33、【市内】 明石菊枝13、砂原勉17、山崎敏男7、

村本忠50、友重憲文1、橋本恵子1、松江行雄25、三井道雄25、村本希一50、松村博光25、【広島】 三島ゆかり7、恵飛須律美33、【大坂】 原多鈴乃1、【滋賀】 大溝浩実13

ありがたくぞんじます

永代経志納

尊い永代経志を賜りました。謹んでお供え申上げます。

三十三回忌のご縁に 金式拾萬円也 通津 増田 香次様

ご報告いたします

仏教婦人のつどい 2月17日

【場所】 山口別院
【講演】 よろこびのお念仏
【講師】 清岡 隆文
【参加者】 河本多喜子 木村裕見子 村岡 房江

間違いと訂正

前回415号の「法事勤修」に【青木】の服部常一様25回忌が抜けていました。失礼致しました。

